

聖籠町における新しい子育てシステムの概要

【経緯】

町内における核家族化の進行、女性の社会進出、国による3～5歳児保育料無償化の開始に伴い、町内における保育ニーズが高まり、従来の0～2歳児は私立保育園、3～5歳児は町立幼稚園（こども園）で預かり保育を追加して受け入れる体制では、保護者ニーズに対応しきれなくなってきた。

これを受けて、保護者ニーズに応じた新しい子育てシステムの構築に向けて検討を開始。

検討①保護者アンケートの実施：令和元年11月に「アンケート」を実施

アンケート結果⇒保育希望73%、幼児教育希望%

検討②町内で私立保育所を運営する社会福祉法人2者との協議開始

保護者ニーズに基づき、0～5歳児を受け入れる保育所（または認定こども園）の開園に向けて協議⇒4園すべてを認定こども園として施設類型を変更し、保育の必要な0～5歳児を受け入れる園として開園することで準備開始。

現行システム

<保育の必要な0～2歳児>

保護者の希望に応じて保育園4園で受け入れ



<3～5歳児>

小学校区に応じて町立幼稚園3園で受け入れ
※保育の必要な児童については、預かり保育事業を追加して対応



保護者の声

- ・兄弟姉妹で保育所、幼稚園にそれぞれ入所している場合、2か所に送迎しなければならないことが負担。
- ・幼稚園の夏季休業期間中におけるお弁当持参が、就労している家庭にとって大変な負担。
- ・小学校区ごとの幼稚園で幼児教育を開始してくれることで、中学校まで同じお友達と一緒に親子共々親睦が深まりやすい。

令和4年度からの新しい子育てシステム

<保育の必要な0～5歳児>

私立認定こども園4園で受け入れ

※保育の必要ない3～5歳児定員も一部設定



<3～5歳児>

町立幼稚園1園で受け入れ

※保育の必要な児童については、預かり保育事業を追加して対応



メリット

- ①兄弟姉妹で別施設（園）への送迎負担解消
- ②保護者の就労等、家庭状況に応じた教育・保育サービスを提供

令和4年度からの新しい子育てシステム体制

令和4年度から現在の私立保育園4園がすべて認定こども園へ施設類型を変更し、基本的に保育の必要な0～5歳児を受け入れ開始。これに伴い、町立幼稚園3園は現在の蓮潟こども園園舎にて町内唯一の町立幼稚園として新しくスタートします。

現園名	定員 (人)	施設類型	新園名	受け入れ対象	定員 (人)
町立蓮野こども園	200	幼稚園	町立せいらう幼稚園 (仮)	3～5歳児	200
町立蓮潟こども園	200				
町立亀代こども園	200				
聖籠こども園	90	認定こども園	ほしぞらこども園	0～5歳児	139
聖籠はじめ保育園	30		聖籠はじめこども園		110
まごころ保育園せいらう	30		ハーモニーこども園		200
まごころ保育園ひがしこう	90		なないろこども園		185
合計	840		合計		834

◎認定こども園とは

教育と保育を一体的に行う施設のことを「認定こども園」といいます。これは幼稚園が行っていた“教育”と、保育所が担っていた“保育”という両方の機能を併せ持っている施設（園）です。

新しい子育てシステムへの移行に合わせ、閉園する町立こども園敷地を町内で私立保育所を運営する社会福祉法人2者へ無償貸付し、町立蓮野こども園敷地内にて聖籠はじめこども園を、町立亀代こども園敷地内でハーモニーこども園を整備しています。（私立認定こども園新園舎本体工事は令和4年2月末完了見込み、令和4年4月1日開園に向けて準備中です。）

※聖籠こども園は既存園舎の一部改修、まごころ保育園ひがしこうは既存園舎の増改築により、新たに受け入れ開始する3～5歳児に対応します。（園舎移転なし）

